

第3学年

書くこと①

社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めること

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

異なる考え方を取り入れ、自分の考えを深めていくことができない。
(それぞれの意見を具体的に評価し、自分の考えに取り入れることができない)



A 「美とは、民族や地域や文化によって異なるものだ。」



B 「美とは、人間にとって共通のものである。」



どちらの考えもすごいなあ……。

2つの考えを比較するときのポイントは何だろうか？

実践の概要

単元名

2つの異なる考え方の文章を比較しよう

「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」東京書籍

目標 異なる意見の文章を読み比べて、自分の考えをもつ。

内容 ・「美・美しさ」について述べられた文章を読み、理解を深めて自分の考えをもつ。
・同じテーマで異なる意見の文章を読み、自分の考えを修正する。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第3学年	2つの異なる考え方の文章を比較しよう	異なる考え方を取り入れ、自分の考えを深めていくことができない。
第2学年	様々な方法で資料を集め、スポーツについてのレポートを書こう	複数の資料を集め、それらを比較・検討して自分の考えをまとめることができない。
第1学年	小学6年生に向けて学校紹介文を書こう	書くことに苦手意識をもっており、テーマについて様々な角度から自分の考えを書くことができない。

単元末の目指す姿

- ・要点をおさえながら、複数の文章を比較して読むことができるようになる。
- ・複数の異なる考えを踏まえながら、自分の意見を書くことが意識できるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

文章の中でポイントとなる部分や、キーワードを探させる。

活動のねらい▶ 筆者の考えの違いがわかる箇所を明確にし、そこから自分の考えをもてるようにする。

ここがポイント

- 筆者の主張が何かを推測し、それをもとにキーワードや主張が表れている箇所を考える。
 - 各自で何が書いてあったかを短文でまとめ、それについての考えを書かせる。
- ※様子を見て、何人かの生徒の文章を紹介し、書きにくい生徒の手がかりとする。

1つ目の文章を読み、自分の考えと比較する



Aの筆者の主張のポイントは、「美しさ」は文化によって異なるものだ、ということだな……。ということは、Bの文章も「美しさ」という観点で考えてみるといいな。

(期待される生徒の姿)

主張が表れている部分やキーワードを確かめながら文章を読み、筆者の主張についての自分の考えを書くことができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

2回に分けて文章を読み、考えを書かせることで、比較を意識させる。

活動のねらい▶ 筆者の主張に対する自分の考えを客観的に見直し、考えを深めることができる。

ここがポイント

- はじめの文章について自分の考えをもたせてから、異なる見方の文章を提示することで、新たな発見がしやすくなる。
- 上の事例で出されたキーワードをもとに、2つ目の文章を読む前後の自分の考えを比較させることで、視点が明確になる。

2つ目の文章を読んで、考えを追加・修正する



AとBを比較して、「美しさ」に対する2つの考えは異なると思っていました。でも、「美しさ」の基本になる部分は同じで、そこに地域や文化が影響しているので、根本的なところは同じ考えじゃないかと思うようになりました。

(期待される生徒の姿)

共通点や相違点をおさえながら2つ目の文章を読み、初めに書いた自分の考えと見比べ、意見を追加・修正することができる。